

第6学年体育科指導案

日時：平成25年10月30日（水）5校時
 場所：仙台市立高森東小学校 体育館
 仙台市立高森東小学校 6年1組
 指導者 教諭 棚木 俊樹

1 単元名 対決！（F 表現運動）

2 単元の目標

- (1) いろいろな題材から表したいイメージをとらえ、即興的な表現や簡単なひとままとりの表現で踊ることができるようにする。 (技能)
- (2) 運動に進んで取り組み、互いのよさを認め合い助け合って練習や発表をしたり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。 (態度)
- (3) 自分やグループの課題の解決に向けて、練習や発表の仕方を工夫することができるようにする。 (思考・判断)

3 評価規準

(1) 内容のまとまりごとの評価規準

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
表現運動の楽しさや喜びに触れることができるよう、進んで取り組むとともに、互いのよさを認め合い助け合って練習や発表をしようとしたり、運動する場の安全に気を配ろうとしたりしている。	自分やグループの課題の解決を目指して、練習や発表の仕方を工夫している。	表現やフォークダンスについて、表したい感じを表現したり踊りの特徴を捉えたりして踊るための動きを身に付けている。

(2) 単元の評価規準

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none"> ・表したい感じを表現したり踊りの特徴を捉えたりして踊る楽しさや喜びに触れることができるよう、表現運動に進んで取り組もうとしている。 ・約束を守り、友達と助け合って練習や発表、交流をしようとしている。 ・運動をする場の安全を保持することに気を配ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決の仕方を知るとともに、自分やグループの課題に応じた動きを選んだり、構成を変えたりしている。 ・自分やグループのよさを知るとともに、練習や発表会、交流会で自分やグループのよさを生かす動きを見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな題材から表したいイメージを捉え、即興的な表現や簡単なひとままとりの表現で踊ることができる。

(3) 学習活動に即した評価規準

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
① イメージを積極的に動きにしようしたり、友達と気持ちを合わせて楽しく踊ったりしようとしている。 ② 友達と励まし合ったり、アドバイスを合ったりして、練習や発表、交流をしようとしている。 ③ 場の安全を確かめて運動しようとしている。	① 動きのイメージをもつことができる。 ② 表したい感じを強調する動きを選んだり、構成を工夫したりすることができる。 ③ アドバイスや友達の動きを手がかりに、よりよい動きを考えることができる。	① 表したい感じに合わせて全身を使って動くことができる。 ② 動きに変化と起伏をつけて、ひとまとまりの動きにして踊ることができる。 ③ 群を生かした動きを工夫して表現することができる。

4 指導にあたって

(1) 児童観

本学級は男子15名、女子10名、計25名である。休み時間になると、男子はサッカーやドッジボールなど、活発に外遊びをしている。女子は室内での遊びを好む児童が多い。放課後や週末はほとんどの児童が習い事をしている。スポーツ少年団に所属し、毎日体を動かしている児童がいる一方で、他の習い事で忙しく体を動かす時間がない児童もあり、運動量に大きな個人差があるのが現状である。

表現運動については、これまで低・中学年とあまり経験してこなかった。昨年5年生で表現運動を行った時には、初めのうちは戸惑っていたものの、慣れてくると男女とも笑顔で体を動かす姿が見られた。運動会では5・6年と南中ソーランを踊っており、自主的に練習をする児童がいるほど、みな真剣に取り組んでいた。また、9月に表現運動に関する意識調査を行った。

① 体育は好きですか

好き 15名 どちらかという好き 7名 どちらかという嫌い 3名 嫌い 0名

② 表現運動は好きですか。

好き	9名	・体を使って表現するのが好き。 ・自分たちの体でどう表せるか考えるのが楽しい。
どちらかという好き	3名	・みんなで協力するし、達成感がある。
どちらかという嫌い	9名	・苦手。 ・どう表現していいかわからない。
嫌い	4名	・はずかしい。

アンケートの結果を見ると、体育の学習はほとんどの児童が好きだが、表現運動に関しては好き嫌いが極端に分かれていることがわかる。友達と協力して活動したり、楽しみながら体を動かしたりする姿勢が身につけていることは、本單元における児童の良さである。しかし、曲や振りが決まっていなくて自分で動きを作り出すことができないことが課題として挙げられる。

(2) 単元観

① 一般的特性

- ・表現運動は、自己の心身を解き放して、リズムやイメージの世界に没入してなりきって踊ることが楽しい運動であり、互いのよさを生かし合って仲間と交流して踊る楽しさや喜びを味わうことができる運動である。
- ・身近な生活などから題材を選んで表したいイメージや思いを表現する学習である。

② 児童から見た特性

- ・全身を使って、なりきって動けると楽しい運動である。
- ・友だちと踊る、創る、見合うことを通して、心が通じ合うことができる運動である。
- ・イメージが湧かず、どう動けばいいのか分からなかったり、人前で動くことが恥ずかしかったりして、なりきれないと感じると楽しさを味わいにくい運動である。
- ・グループで協力して一つの作品をつくっていくことで、達成感を味わうことができる運動である。

(3) 指導観

以上の運動の特性や児童の実態をふまえ、研究主題「児童のわかること、できることを大切にした体育学習の在り方」と関連づけ、以下の第3地区研究の授業の手立てを工夫しながら授業を展開していく。

第3地区研究 児童が「わかる」「できる」ための手立て

- ① 児童の関心ややる気を高める評価の工夫
- ② 単元全体を通して、自分の高まりを感じられる学習カードの工夫
- ③ 動きに意味づけする言葉、変化を与える言葉の工夫

また、「進んで体を動かすことができるが、自分で動きを作り出すことはあまりできない」という児童の実態から、スモールステップを意識した指導が必要であると考えた。そこで、「やってみるーひろげるーふかめる」の3つの段階を設定し、学習を進めていく。

「やってみる」…教師の言葉やリードで、みんな一緒に全身を使って即興的に踊る。

「ひろげる」…「やってみる」で体験した動きをもとに、動きのポイント（メリハリ、誇張、変化）を押さえながら「ひと流れの動き」にして踊る。

「ふかめる」…「やってみる」「ひろげる」で学習してきたことを生かし、表したい感じを強めるように「ひとまとまりの動き」にして踊る。また、グループ内やペアグループでアドバイスをし合い、発表会へ向けて高め合う。

児童が「わかる」「できる」ための手立て

① 児童の関心ややる気を高めるための評価の工夫

(1) 単元を通した目指す児童の姿の設定

- ・学習活動に即した評価規準を設定する。(3 評価規準(3)に記載)

(2) 動きのよさや工夫を認める教師の見取り。児童の変容の記録の方法

- ・見取るための環境をつくる。(子供たちの隊形や教師の立ち位置)
- ・振り返りカードに教師が評価を記入する。
- ・授業記録と振り返りカードに書かれた児童の自己評価の記録。

- ② 単元全体を通して、自分の高まりを感じられる学習カードの工夫
- (1) スモールステップを意識したためあての設定
 - ・学習形態の工夫。(教師主導でみんな一緒に → ペアで → グループで)
 - ・「やってみるーひろげるーふかめる」の3つの段階を設定する。
 - (2) 単元内での自分の高まりを感じられる振り返り方の工夫
 - ・振り返りカードを活用し、自分の頑張りや伸びがわかるようにする。
- ③ 動きに意味づける言葉。変化を与える言葉の工夫。
- (1) 児童のやる気や意欲を喚起する教師の言葉掛けの工夫
 - ・「意味づけをする言葉がけ」と「変化を与える言葉がけ」
 - ・「大きさは?」「速さは?」などの、動きを具体化する問いかけ。
 - ・「〇〇さん上手だね。まねをしてみよう。」などの、友達によさに気付かせる言葉がけ。
 - (2) 児童がよりよい動きに気付いたり見つけ出したりできるような学習活動の工夫
 - ・振り返りカードに友達のよかったところを書く欄を設ける。
 - ・ペアグループで見合い、アドバイスし合う活動を取り入れる。
 - ・友達のよい動きを見つけた子への評価。

5 指導と評価の計画

第6学年 単元名：対決！ 領域：表現運動 配当時間：6時間				
時間	主なねらい・学習活動	学習活動に即した評価規準		
		関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能
1	<p>学習の見通しを持つ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学習の進め方を知り、単元の学習の流れをつかむ。 2 ストレッチをする。 3 【活動1 やってみる】 スキップ&ハイタッチ 4 【活動2 やってみる】 教師が扱う新聞紙になって、形の特徴をとらえて踊る。 5 【活動3 ひろげる】 2人組で、新聞紙になる人と扱う人に分かれて踊る。 6 【活動4 やってみる】 ジェスチャーゲーム 次々と出されるお題の動きを、みんなで一緒に踊る。 7 振り返り 	① ③		
2	<p>即興で動きをつくろう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ストレッチをする。 2 【活動1 やってみる】 ジェスチャーゲーム 3 【活動2 やってみる】 連続ポージング 1人ずつ即興でポージングを行い、作品をつくる。 4 【活動3 ひろげる】 スローモーションの動き ペアになり、2人組で対決の動きを行う。 5 振り返り 	①	①	

3	<p>1 一番表したい場面をつくろう。</p> <p>1 ストレッチをする。</p> <p>2 【活動1 ひろげる】 体じゃんけん 全身でじゃんけんをし、勝った人がお題を出す。</p> <p>3 【活動2 やってみる】 グループを作る。(1グループ6人で計4グループ) 作品づくりのルールを理解し、作品のテーマを決める。</p> <p>4 【活動3 ふかめる】 グループごとに1番表したい場面をつくる。</p> <p>5 振り返り</p>		②	①
4	<p>表したい感じが伝わるように、「はじめ」と「おわり」の動きを工夫しよう。</p> <p>1 ストレッチをする。</p> <p>2 【活動1 やってみる】 タッチ&エスケープ</p> <p>3 【活動2 ふかめる】 「なか」の動きを確認する。</p> <p>4 【活動3 ふかめる】 「はじめ」と「おわり」の動きをつくる。</p> <p>5 振り返り</p>		②	②
5 本 時	<p>発表会に向けて、動きをよりよくしよう。</p> <p>1 ストレッチをする。</p> <p>2 【活動1 ひろげる】 エア・スポーツ 「集団の中での自分の動き」を意識して踊る。</p> <p>3 【活動2 ふかめる】 グループで作った動きの確認、練習を行う。</p> <p>4 【活動3 ふかめる】 ペアグループで作品を見せ合い、アドバイスをもとに 作品を改善する。</p> <p>5 振り返り</p>	②	③	
6	<p>発表会をしよう。</p> <p>1 ストレッチをする。</p> <p>2 【活動1 ふかめる】 グループごとに最終確認、練習を行う。</p> <p>3 【活動2 ふかめる】 発表会をする。</p> <p>4 振り返り</p>	①		③

6 本時の展開（5／6時間）

(1) 本時の目標

- アドバイスや友達の動きを手がかりに、よりよい動きを考えることができるようにする。(思考)
- 友達とかかわりながら協力して踊ることができるようにする。(態度)
- 群を生かした動きを変化と起伏をつけながら工夫して表現することができるようにする。(技能)

(2) 準備物

CDデッキ（児童用4つ） 教師用CDデッキセット ワイヤレスマイク リズム太鼓
移動用黒板 掲示物

(3) 学習過程

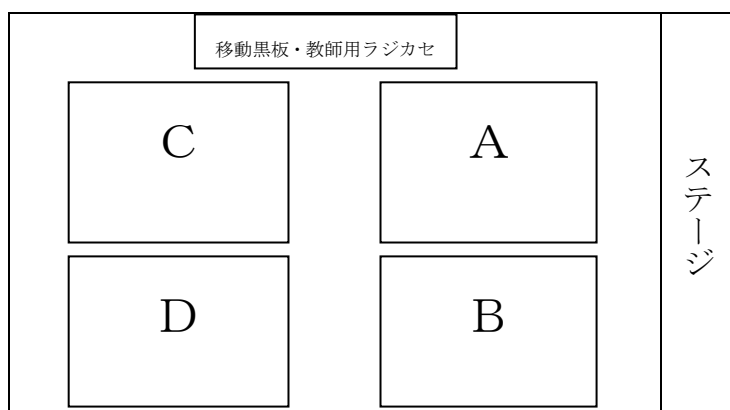
	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価（☆）
導入 (10分)	<p>1 ウォーミングアップ</p> <p>(1) ストレッチ（音楽:風の通り道）</p> <p>活動1（5分）</p> <p>(2) エア・スポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が指定したスポーツの動きを、道具を何も使わず即興で行う。 <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">発表会に向けて、動きをよりよくしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間行っているストレッチを一斉に行う。 ・まずは個人で、連想する動きを行う。その後、ボクシング・剣道…ペア ボウリング・バスケットボール…ペアグループで行う。 ・メリハリのある素早い動きを体験させる。 ・活動を通して「集団の中での自分の動き」を意識させる。 ・よりよくするためのポイントを、掲示物を使って確認させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 集団を生かす つながり メリハリ 全身で </div>
展開 (30分)	<p>活動2（5分）</p> <p>3 グループでつくった動きを確認し、練習する。</p> <p>活動3（25分）</p> <p>4 ペアグループで作品を見せ合い、アドバイスをし合う。（1グループ10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「テーマ」と「作品の目標」を言ってから始める。 ① 一つ目のグループの発表 ② 感想発表・話し合い ③ 二つ目のグループの発表 ④ 感想発表・話し合い 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのように踊るかだけでなく、どのように見えるかも意識しながら動きを確認するよう、声がけする。 ・感想を言った後に、どうすれば作品がさらによくなるかをペアグループで話し合わせる。 ・デジカメを使い、自分でも動きを確認させる。 ・ポイント（掲示物）を意識して話し合うこと、ほめる時もアドバイスをする時も具体的に話すことを伝える。 ・口頭でアドバイスするだけでなく、お互いに体を動かし、どんどん試しながら改善していくよう声掛けする。 ・意欲的にアドバイスしてるグループを認め、広める。

	5 アドバイスをもとに，作品を改善する。	アドバイスや友達の動きをもとに，変化と起伏をつけて表現している。 【運動についての思考・判断】（観察）
終末 (5分)	6 整理運動 ・ストレッチをする。 7 学習の振り返りをする。 ・振り返りカードを書く。 ・次時の学習について知る。	・ストレッチを一斉に行う。 ・参考になったアドバイスや，アドバイスによってどのように改善されたかを中心に書くよう伝える。 ・よくかけている児童の感想を紹介する。 ・次時は発表会を行うことを伝える。

(4) 評価

学習活動に即した評価規準	A と判断する学びの姿	C の児童への手だて
アドバイスや友達の動きを手がかりに，よりよい動きを考えて踊ることができる。	アドバイスや友達の動きを手がかりに，群を生かした動きを変化と起伏をつけながら工夫して表現することができる。	友達の動きを真似して踊ってみよう声がけする。また，動きのポイントを提示し，それを意識しながら踊るよう伝える。

(5) 場の構成



- ・4グループの練習場所。(3・4・5時目)
- ・ペアグループは [A・B] [C・D] の組み合わせで行う。

7 資料

○振り返りカード（別紙参照）

○作品カード（別紙参照）

○活用文献

- ・小学校指導要領解説 体育編
- ・体育の学習 6年 光文書院
- ・平成24年度仙台市小学校教育研究会体育部会研究集録第25集
- ・女子体育 平成21年 7・8月号 ・女子体育 平成23年 8・9月号
- ・女子体育 平成24年 8・9月号 ・女子体育 平成25年 8・9月号
- ・新学習指導要領対応 表現運動 - 表現の最新指導法 小学館
- ・表現運動のすべて てんこ盛り事典 明治図書